



メール送信テストツール手順書

CONTENTS

目 次

はじめに

「メール送信テストツール」の必要システム環境

送信テスト

操作方法

送信テスト時の確認事項	6
SMTP サーバーへのメール送信	6
メール送信後のメーラ側での受信	6

1

1

2

2

こんなときは・・・(FAQ)	7
[送信]ボタンをクリックしたとき	7
受信後のメーラーで確認したとき	8



当「メール送信テストツール手順書」は、『奉行 Edge 給与明細電子化クラウド for 奉行シリーズ』で明細書をメールで配信して利用される場合に、事前にメールが送信できるかを確認する「メール送信テストツール」の手順書です。

当ツールを利用し、配信予定の全ドメイン名に対して配信テストを行い、問題がないことをご確認の 上、ご利用いただくようお願いいたします。

<例>

メールを配信する社員が以下の場合

@マーク以降の部分がドメイン名になります。

10000 @ aaa.co.jp 10100 @ aaa.co.jp 10101 @ bbb.co.jp 10200 @ bbb.co.jp 10201 @ ccc.com 10300 @ ccc.com



????? @ aaa.co.jp ????? @ bbb.co.jp ????? @ ccc.com

「メール送信テストツール」の必要システム環境

• 画面解像度「1024 × 768」以上

- ・A4 サイズを印刷できるプリンタが接続されている必要があります。
- ・受信側で給与明細 PDF ファイルを参照するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。

送信テスト

送信を想定するドメインに対して、必ず送信テストしてください。

操作方法

- 1 「メール送信テストツール」を起動する
 - ① サイトからz i pファイルをダウンロードします。
 - ② z i pファイルをダブルクリックし、展開されたフォルダの中の「Setup.exe」ファイルを ダブルクリックします。
 - ③以下の画面が表示されます。

<mark>986 メール送信テストツール</mark>	×□_ @
基本設定	
SMTPサーバー名 smtp.test.	erver 2
送信元メールアドレス I_Yamada@o	ics.com 3
送信者名 山田 一郎	4
認証方式 SMTP認証	Image: 10 and 10 an
アカウント名 account	6
パスワード ******	7
POPサーバー名	
【送信情報】 宛先 9 S_Kawat ani 添付ファイル D:¥080PDF¥ 件名 2012年9月	tobcs.com;I_0gawa@obcs.com 記信回款 10 BC#K2012090¥(100000)201209K.pdf 参照(b) 11 指令明細書 12
本文 	13
FT F2 F3 FF 送信 前面	F5 F6 F7 F8 F9 F10 F12 面 次画面 送信設定 第10 第10 第10

2 SMTP サーバー名(必須)

メールを配信する場合の、配信元の SMTP サーバー名を設定します。 現在使用されているメールサーバー名か、契約しているプロバイダの SMTP メールサーバー 名を入力します。

3 送信元メールアドレス(必須)

送信元のメールアドレスを入力します。

4 送信者名

送信者名を入力します。

5 認証方法

メール送信時の SMTP サーバーの認証方式を選択します。

6 アカウント名

認証に使用するアカウント名を入力します。 認証方式が「認証しない」の場合は、設定できません。

7 パスワード

認証に使用するアカウントのパスワードを入力します。 認証方式が「認証しない」の場合は、設定できません。

8 POPサーバー名

POP Before SMTP 認証を行う場合の、POP サーバー名を入力します。 認証方式が「認証しない」または「SMTP 認証」の場合は、設定できません。

9 宛先(必須)

宛先のメールアドレスを入力します。 複数のメールアドレスのテストを行う場合は、セミコロン(:)で区切ってください。

10 配信回数(必須)

配信回数を入力します。 複数のメールアドレスのテストを行う場合は、配信回数は必ず1回となります。

11 添付ファイル

添付ファイルを指定します。[参照…]ボタンで[ファイルを開く]画面が表示されます。 ■ の②で展開したフォルダ内に、給与明細書のサンプル PDF がありますので、ご利用ください。 パスワードは「100000」になります。

12 件名

件名を入力します。



本文を入力します。

085 メール送信テストツール	
	0
基本設定 詳細設定	
□ <u>タイムアウト 60</u> 秒 15	
ポ-ト 110 0 タイムアウト 80 秒 17	
【法信形式】 暗号化接続(SSL) © しない O する 18	
文字エンコード © 7Bit C Quoted Printable 19	
FT 21 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10	FTT 22 F12
	開じる



14 【SMTPサーバー】 ポート

メール送信時の SMTP サーバーのポート番号を設定します。 通常のメール転送に使われるポート番号は、25になります。

15 【SMTPサーバー】 タイムアウト

SMTP サーバーのタイムアウトまでの時間を入力します。

16 【POPサーバー】 ポート

POP サーバーのボート番号を設定します。 認証方式が「認証しない」または「SMTP 認証」の場合は、設定できません。

17 【POPサーバー】 タイムアウト

POP サーバーのタイムアウトまでの時間を入力します。 認証方式が「認証しない」または「SMTP 認証」の場合は、設定できません。

18 暗号化接続(SSL)

「する」を選択すると、メールの内容を送信時に暗号化(SSL)して SMTP サーバーと通信 します。

(SSL 通信において、Implicit SSL モードに非対応、Explicit SSL モードに対応しています。)



メール本文のエンコードを選択します。

(正常送受信できないような特別な場合を除き、設定を変更する必要はありません。)

20 改行コード

メール本文の改行を選択します。 (正常送受信できないような特別な場合を除き、設定を変更する必要はありません。)

21 送信する

入力が完了したら、[送信]ボタンをクリックします。 以下のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



22 閉じる

終了する場合は、 [閉じる] ボタンをクリックします。



送信テスト時の確認事項

SMTP サーバーへのメール送信

[送信]ボタンをクリックして、正常に送信できるかをご確認ください。

- ・サーバーからの応答エラーメッセージが表示されることなく送信できるか?
- ・宛先を1つ設定し、配信回数を100回としたときに正常に配信できるか?
- ・配信対象の全ドメインを宛先に設定し、一斉に配信できるか?

※セキュリティソフトの設定等によっては、正常に配信できない場合がございます。 その場合は、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

メール送信後のメーラ側での受信

宛先に正しく届いたかをご確認ください。

・文字化けしていないか?

注▲意

・添付ファイルが正しく開けるか?

『奉行 Edge 給与明細電子化クラウド for 奉行シリーズ』で明細書をメール配信する 場合は、『給与奉行』がセットアップされているコンピュータからメールを送信し ています。

送信テスト時は、送信している以下のコンピュータに対して「メール送信テスト ツール」をセットアップして、送受信を確認してください。

1:スケジュール配信の場合

『給与奉行』のサーバー用コンピュータ

2: [給与明細電子化クラウド]-[明細書配信]-[明細書配信処理]メニュー場合 『給与奉行』のクライアントプログラムがセットアップされている コンピュータ

※『給与奉行 11』『給与奉行 10』の Single Edition /スタンドアロン製品の場合は、 「サーバー用コンピュータ」はありません。



[送信]ボタンをクリックしたとき

メッセージ	内容
指定された文字列は、電子メールアドレス	RFC に非準拠のメールアドレスを指定した場合は、
に必要な形式ではありません。	不正である書式と判断し、送信することができません。
	(1) マークの自動にトット()かめるメールアトレス
	~~~~~
	@ マークより前でドット(.)が連続している
	メールアドレス
	xxxx@xxxxxx
	別のアドレスを代用してください。
リモート名を解決できませんでした。	SMTP サーバー名が正しくない可能性があります。
	また、LAN ケーブルが抜けている可能性があります。
そのようなホストは不明です。	再度入力しなおして確認してください。
対象のコンピュータによって拒否	ポートが正しくない可能性があります。
されたため、接続できませんでした。	また、ポートブロックがされている可能性があります。
	ネットワーク担当者に確認してください。
過ぎても正しく応答しなかったため、	
接続できませんでした。	
確立されたホストコンピュータの	テストツールを実行している PC のソフトウェア
ソフトウェアによって中止されました。	(アンチウイルスソフト)が原因で、メールサーバーに
	接続できません。
	アンチウイルスソフトを停止させるか、スキャンの
	対象から外して、再度送信しなおしてください。

転送接続にデータを書き込めません。	一部のメールサーバーでは、メールサーバー側の
	仕様で、テストツールのデータ送信方法を正しく
転送接続にデータを読み込めません。	認識できないケースがあります。
	本文エンコードを「Quoted Printable」に変更して、
既存の接続はリモートホストに強制的に 切断されました。	再度送信しなおし、回避されるかを確認してください。
	   また、改行コードを「CRLF」に変更して、再度
	送信しなおし、回避されるかを確認してください。
メールボックスが使用できません。	テストツールを実行している PC がメールサーバーに
サーバーの応答:	接続することを、メールサーバー側が許可していません。
5.7.1 Unable to relay	
for xxxx@xxxxxx	ネットワーク担当者に中継許可できるように、
メールボックスが使用できません。	メールサーバー側の設定を確認してください。
サーバーの応答:Relay denied	
メール ヘッダーに無効な文字が	コンピュータ名が日本語である可能性があります。
見つかりました。	半角英数の名称に変更してください。

# 受信後のメーラーで確認したとき

ある任意のメーラーで、文章自体が 添付ファイルになってしまう。	ー部のメーラーでは、メーラー側の仕様で、 テストツールのデータ送信方法を正しく認識 できないケースがあります。
	本文エンコードを「Quoted Printable」に変更して、 再度送信しなおし、回避されるかを確認してください。

#### — 禁 無 断 転 載 —

2024年 5月30日 第5版

著者 株式会社オービックビジネスコンサルタント システム開発グループ発行所 株式会社オービックビジネスコンサルタント 出版部

https://www.obc.co.jp